

新潟県の養鶏場で高病原性鳥インフルエンザの発生が確認されました(今シーズン3例目)!

- HPAIウイルスは、国内北から南までに侵入しています。
- 消石灰散布・入場時の消毒等、予防対策を徹底してください。

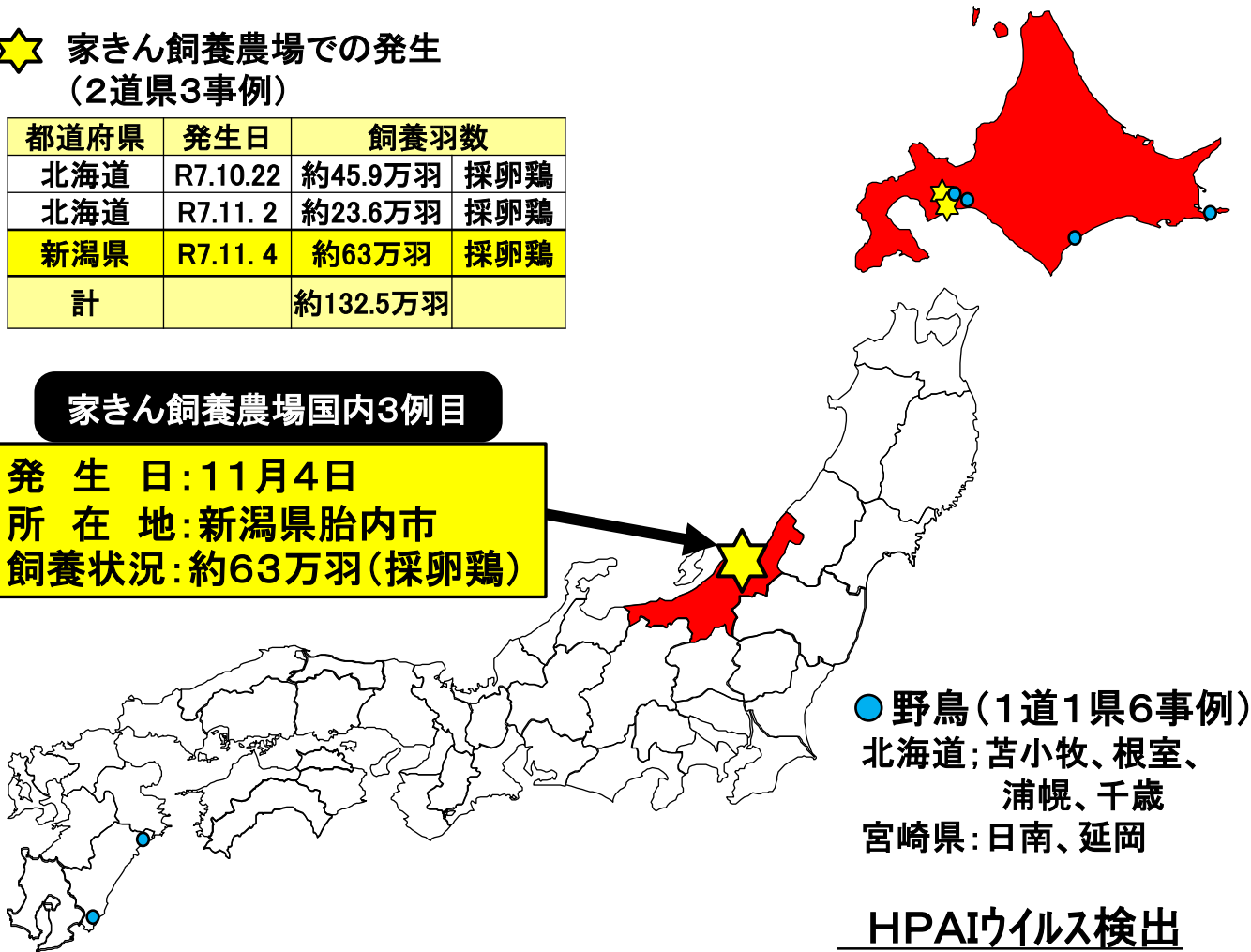
高病原性鳥インフルエンザ発生状況（令和7年シーズン）

★ 家きん飼養農場での発生 (2道県3事例)

都道府県	発生日	飼養羽数	
北海道	R7.10.22	約45.9万羽	採卵鶏
北海道	R7.11.2	約23.6万羽	採卵鶏
新潟県	R7.11.4	約63万羽	採卵鶏
計		約132.5万羽	

家きん飼養農場国内3例目

発 生 日: 11月4日
所 在 地: 新潟県胎内市
飼養状況: 約63万羽(採卵鶏)



HPAIウイルス検出

- ① 衛生管理区域に立ち入る人・車両等の消毒、区域専用の衣服及び靴の設置
- ② 家きん舎に立ち入る人等の消毒、家きん舎ごとの専用の靴の設置
- ③ 野生動物の侵入防止のためのネット等の設置・点検及び修繕
- ④ 家きん舎周囲、飲水の消毒

予防対策

死亡羽数が増える等の異状が見られたら、すぐに下記まで連絡して下さい。

京都府南丹家畜保健衛生所TEL: 0771-42-3308 (夜間・休日も転送機能で連絡可能)